

卓上溶接機の新工場稼働



向洋技研

「高速溶接技術」を開発。溶接痕がなくきれいに仕上げられ、現在はマイスポットの全シリーズに標準搭載されている。「焼けにくい(溶接痕が残らない)スポット溶接は、世界初

向洋技研(☎042-770-4306)は、相模原市緑区橋本台に新本社・工場を稼働させた。同社で製造販売するテーブルスポット溶接機「MYSPO(マイスポット)」の専用工場で、事務棟1階には、マイスポットを実際に試せるショールームも置いた。新工場の稼働により、同製品の年間生産能力は、旧工場(同市中央区田名)の倍以上となる約300台となり、国内外の需要に対応する。

海外15カ国に輸出

国内外の需要増に対応

す」(甲斐美利社長)とし、国内外での販売台数を伸ばし続けており、現在までに海外25カ国、累計3500台を納入。工作機械の“本場”欧州にも積極的に売り込んでいる。今回、同社は新工場を完成、稼働させた。事務所棟(4階建て)と工場棟(平屋建て)で構成。旧本社にいた従業員は新工場に移動した。甲斐社長は「金属が存在する限り“くっつける”という溶接の需要はなくなることはありません」と話しており、さらなる飛躍を誓っている。

取材メモ

甲斐社長は、あの本田宗一郎氏から学んだ経験がある。学校卒業後、世界に通用するキーロックメーカーを育てようと、本田氏が私財で設立したホンダロック(宮崎市)に1期生として入社。まもなく、本田技術研究所に配属され、本田氏直属のプロジェクトに抜てきされた。独立後も「ものづくりとは、作るだけでなく売ってこそ成り立つ」という本田氏の言葉を実践。マイスポットを開発してからは、「商人」(甲斐社長)として、自ら営業に回り続けている。今でも海外にも単身で売り込みに行くことがあるという。



同社は従業員数35人の溶接機メーカー。1988年に開発した「テーブルスポット溶接機」という、他社も手掛けないタイプを専門に扱っている。テーブル型で多関節ロボットアームを使い、奥深い箱物の溶接作業ができるものだ。コピー機や配電盤、自動販売機の筐体など、用途も幅広い。2012年には、溶接時間がなんと0.01秒という



都市拡業

長寿企業の秘けつ

世代ごとに業態を“進化”

水処理エンジニアリングの都市拡業(横浜市南区三春台、☎045-231-1686)が設立110周年を迎えた。明治、大正、昭和、令和と事業を継続し長寿企業となった同社だが、実は同じことを110年間やってきたのではなく、世代交代するたびに新規事業を始め、それを中核事業に育成し、また次世代に引き継ぐということを繰り返してきたという。田尻恵保社長は「その代、その代で新しい事業にチャレンジしてきました」と話している。

「されています。当社も先代、先々代は同じことをやっていません」と明かす。今ではバイオウォーター事業が中核事業となり、売上高の半分以上を占めるまでに。給排水工事の会社から「水処理エンジニアリング企業」へと変ぼうを遂げた。「企業は大きくすることよりも、ファミリーで長く継続した方が良いと思っています」と言う田尻社長。現在、事業承継の準備も進めている。

■感謝の集い開催
同社はこのほど、ホテルニューグランド(横浜市中区)で「創業110年の感謝の集い」を開催した。関係者ら約150人が出席。菅義偉官房長官がビデオメッセージでお祝いしたほか、後半にはミュージカル落語が披露された。林文子・横浜市長からお祝いのメッセージも寄せられた。



1909(明治42)年、初代の田尻儀八氏が横浜・元町で「田尻組」として創業したのが前身。海運業と市からの委託清掃業を手掛けていたが、2代目の田尻友作氏の時代に「都市拡業」となり、今度は浄化槽の管理・清掃と給排水設備工事を主力とした企業に変わった。

そして3代目の田尻社長が就任。田尻社長は給排水設備工事を引き継ぎつつ、新規事業として水処理装置の開発に注力。独自の酸化被膜工法を編み出し、給水管に取り付けるだけで水質を改善できる装置「ザ・バイオウォーター」を10年ほど前に製品化した。

同製品はインフラの老朽化による水道管の赤サビ劣化問題などで、設備の更新工事をしなくても対策ができるもの。人工の鉱物結晶(セラミック)を活用し、既存の水道管につなげて水を通すと、赤サビ(泥に近いサビ)が黒サビ(金属に近い結晶)に変わり、それが配管内部を被っていく。つまり、赤サビで劣化した配管を黒サビが修復・復元するものだ。

■事業の寿命は30年

田尻社長は「同じ事業は30年が寿命と

継承し新事業を繰り返す

“知財の総合病院”

アイメックス特許事務所

アイメックス特許事務所(川崎市川崎区駅前本町、☎044-246-5534)は「知的財産の総合病院」を実現する。電気や機械、化学、商標など、各専門分野に強い弁理士軍団を擁し、顧問先も200社近くと地域有数の規模を誇る。

木下茂所長は、日本弁理士会の神奈川県委員会副委員長や明治大学理工学部兼任講師、「川崎市ものづくりブランド」の企画委員などを兼務しており、この道で約30年のベテラン弁理士だ。

中小企業の事情に明るい木下所長だが、長年接してきた経験から、最近の変化も感じているという。「以前と比べると、大手企業を頂点とするピラミッド構造は崩れ、中小企業が自社製品を持つケースが増えてきたと感じます」(木下所長)と話す。



「長屋」のようなワークプレイス



江戸時代の「長屋」をイメージしたワークプレイスが川崎駅近くにある。NAGAYAかわさき(川崎市幸区幸町、☎044-511-1022)は、シェアオフィスとレンタルオフィス、それにキッチンスタジオを備えた施設だ。月額1万5000円からフルタイムで、しかも法人登記や住所利用が可能。起業家から専門家、外資系企業の日本法人などが集う。

運営会社のゲートウェイ(東京都港区)の広瀬新朗社長が立ち上げた。同社は川崎のほかにも、東京・青山や清澄白河など、計5カ所でも同様の施設を運営する。広瀬社長は施設全体で約350人の入居者と接している。時には入居者からの相談やマッチングをすることもあ

今でこそ普及してきたシェアオフィスだが、広瀬社長は、実はそのパイオニア的存在。もともと建築関係の企画・設計会社に勤務。娯楽施設やショッピングセンターなどの運営までを手掛けていたが、米

シェアオフィスのパイオニア的存在

リーマンショックで状況が一変。東日本大震災もあった。日本経済の先行き不透明感が漂う中、広瀬社長が着目したのは、米国で普及していたシェアオフィスだった。「これからは新しいワークスタイルが求められる時代がやってくると思いました」(広瀬社長)と、2012年3月に

同社を設立した。江戸時代、商人や職人が住んでいた「長屋」での暮らしは、一つ屋根の下、井戸端会議が生まれるような豊かなコミュニケーションがあり、互いに支え合う暮らしだった。そんな「長屋スピリット」をワークプレイスにも取り入れたいと考えた。

広瀬社長の「読み」は的中。今やシェアオフィスは県内でも次々とオープンするようになった。多様な働き方に対する機運が高まってきたことも需要増の追い風となっている。

「以前と比べると起業のハードルは下がりました。起業が世の中の的にも認知されてきました。これからはシェアオフィスの需要がなくなることはないでしょう」(同)と話している。



ただ、その一方で「特許を持っているからモノが売れるわけではありません。あくまで売れるモノを保護するのが特許なのです。売る手段は自分たちで考えなくてはなりません」とも説く。

「脱下請け」を目指して自社製品を開発するものの、それが決してヒットするとは限らない。木下所長は「技術だけでなく、デザインやコスト、機能性も兼ね備える必要があります。大手企業の開放特許を活用するのも手です」とアドバイスもする。ものづくり企業が集積する川崎市内だが、知財という切り口で地域企業の悩みを解決し、発展を支え続けている。

社長さんが知っておきたい冠婚葬祭のマナー

ただいまですが、今回は弊社が毎年行っている「人形供養」について紹介させていただきます。まずは、「供養」について理解を深めてまいりましょう。

「供養」とは、本来、仏さまや菩薩さまなどの神様を敬って、お香やお花、飲食などの供物を心から捧げる行為を示します。語源はインドの古い言葉、サンスクリット語が元になっており、「尊敬」を意味する言葉の訳と言われています。現在では、亡くなった方に対して行われる事が一般的ですが、仏さまや大切な家族、友人にとどまらず、家族のように過ごしてきたペットなど、死者に対してという意味での供養もあります。さらに、供

供養について① ~人形供養~

養の意味を広く捉えようと、私たちの生活に深く関わった物や道具など様々なものに対する供養も行われています。

「人形供養」がその一例です。昔から日本人にとって、大切にしてきたぬいぐるみや人形は、単なる飾り物や遊び道具ではなく、魂が宿ると考えられることが関係しています。そして、「思い入れがあった人形なので捨てるのはためらいがある」「ゴミと一緒に捨てるのは忍びない」「モノに感謝してきちんと手放したい」といった気持ちから、供養をするケースが多くなりました。

このように、私たちが生きていく中で必ず訪れる人や物との別れに、「供養」は欠かすことのできない儀式といえます。

(清水誠葬具店副社長・清水ふじ代)

◇お知らせ◇ 【人形供養祭】日時:令和元年11月30日(土) 午前10時~午後2時、場所:セレモニーホール奉誠殿(横浜市南区真金町2-20-4)、問い合わせ先:0120-53-0853

「お仕事探検隊、隊長ココロちゃん」
横浜電子株式会社 編

この車は、まわりやすいワン！
「ON!」
車輪突破防止装置
ライジングボラード

今日は、お家を狙って！
「ON!」
車輪突破防止装置
ライジングボラード

おはようございます！
「ON!」
車輪突破防止装置
ライジングボラード

防犯防止もできるんです！
「ON!」
車輪突破防止装置
ライジングボラード
神田一弘 社長